

# 創造的復興への取り組みについて

## ～熊本地震から5年～

株式会社 肥後銀行

2021年4月

# 1. 熊本地震の被害概要

- 2016年（平成28）4月14日21時26分、16日1時25分に震度7の地震が2回発生
- **国内での震度7観測は4例目（九州では初）**

## 熊本県全体の被害概要

人的被害	死者	273名
	負傷者	2,809名
住宅被害	全壊	8,668棟
	半壊	34,720棟
	一部破損	162,562棟
	計	205,950棟
県内被害総額	約4.6兆円	

避難状況	避難者（以下、ピーク時）約18.3万人
交通	九州新幹線 博多-新水俣 一時運休 九州高速道一時通行止 国道57号通行止め 熊本空港一時閉鎖
水道	断水：熊本市で32万戸
電気・ガス	停電：熊本全県で7.7万戸 ガス停止：" 10.5万戸

## 当行の被害概要

休業店舗	木山支店	18日（月）営業再開
	東町団地支店	19日（火）営業再開
	味噌天神支店	19日（火）営業再開
	広安支店	20日（水）営業再開
	託麻支店	25日（月）営業再開
ATM	店舗内 152台停止	18日（月）全台再開
	店舗外 41台停止	18日（月）設置先被災 以外の全台再開
事務センター	変圧器倒壊：17日（日）復旧	
その他	北部倉庫	移動棚倒壊
	社宅	ブロック塀等の破損

## 2. 震災発生直後の主な対応

- ・震災直後より**県内事業法人16,403先・住宅ローンご利用43,548先すべてを訪問**
- ・支援物資を被災市町村や病院へ提供、本店設置の防災井戸での給水

### 県内事業法人全先へのリサーチ活動

### 個人のお客様へのリサーチ活動 (鹿児島銀行との協働:30名)

被害先数 **5,576先**  
被害規模 **約1,500億円**

被害先数 **5,533先**

- ・復興支援方針策定・公表、震災復興委員会を設立

～活力に満ちあふれた“ふるさと熊本”の創生のために～

(1) 熊本の復旧に向けた貢献

～お客様の事業基盤・生活基盤の再建に向けた金融仲介機能の発揮

(2) 熊本の復興に向けた貢献

～地域経済・産業の活性化に向けたコンサルティング機能の発揮

(3) 熊本の未来づくりに向けた貢献

～金融サービスを通じた復興・地方創生の実現への持続的な貢献

## 被災地域への金融サービス提供 「移動店舗車 HarmoniCar（ハモニカー）」

災害発生時、緊急対応車両として、  
ATMでの現金供給や電源供給などが  
行える移動店舗車を2台導入  
被災地域のお客様の支援を実施



### 仮設団地を運行

熊本市や益城町など  
県内13カ所の仮設団地を巡回



<<窓口業務



ATMを利用するお客様>>

### 本店設置の防災井戸での給水

熊本地震発生の前年に建替えた本店敷地内には、防災設備のひとつとして防災井戸設置しており、速やかな対応を実現



### 県内10か所に「防災井戸」設置

災害時の生活用水拠点の重要性を踏まえた地域のBCP強化の一環として、県内10か所の営業店に防災井戸を設置



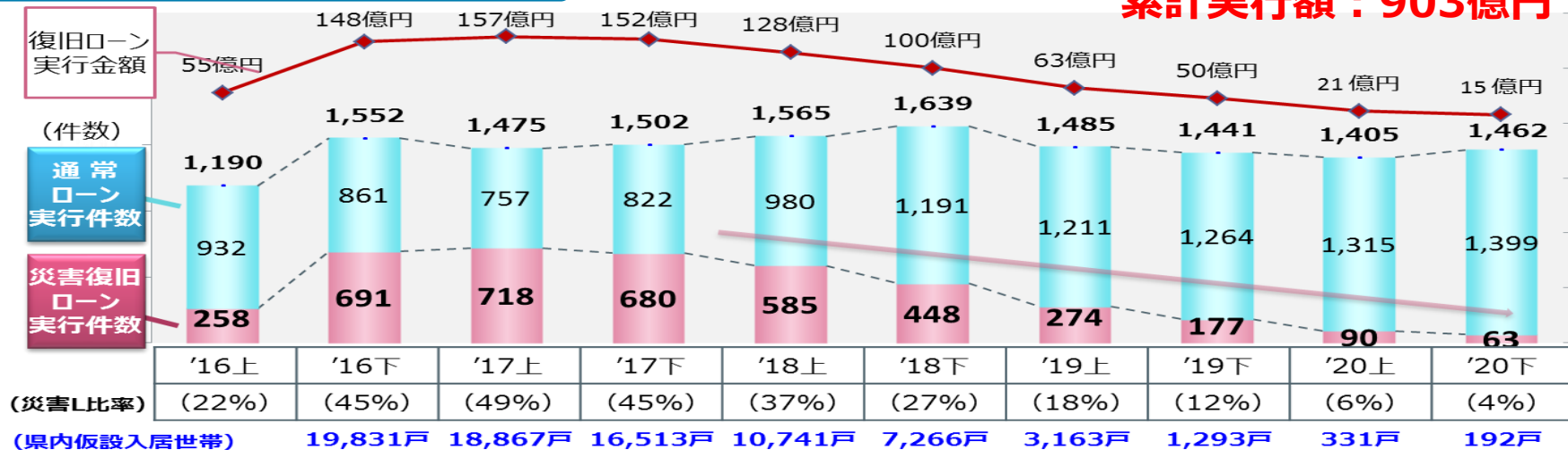
熊本市6か所  
合志市、宇土市 } 各1か所  
宇城市、八代市 }



# 5. 個人分野の取り組み

## 復旧関連ローン

累計実行額：903億円



## 自然災害債務整理ガイドライン

- **全国初の制度運用**にあたり、より柔軟な対応を実施（熊本県弁護士会と協働）  
住宅ローン利用全43,548先、仮設住宅4,303戸
  - ・ 調停案同意（債権放棄等）：**84先/12.7億円**
- **県外への普及活動**：研修会等への講師派遣
  - ・ 愛知県（南海トラフ地震への備え）、福井県（豪雪災害）、広島県（西日本豪雨災害）



# 6. 法人分野の取り組み

## コンサルティング活動

### 1. 各種セミナー、相談会

ワンストップ相談会派遣	26会場
震災復旧・復興説明会	53社
震災復興支援セミナー	137社
事業承継・M & Aセミナー	191社
補助金実践セミナー	362社

2. 補助金グループニング支援 42グループ

3. 復興事業計画策定支援 1,029社

熊本県震災関連予算：累計1兆133億円

→ グループ補助金1,373億円  
(4,709先)

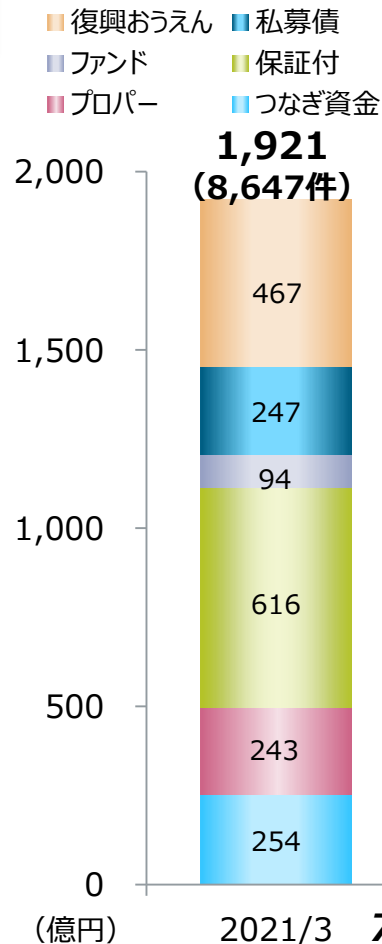
## 復興関連実行額

復興資金  
実行額 1,921億円  
(8,647件)

震災復旧  
事業費 1,832億円

## グループ補助金つなぎ融資

実行総額 254億円  
(588件)



# 7. 震災復興ファンドの取り組み

- 日本政策投資銀行、リサ・パートナーズ、地域経済活性化支援機構と連携し、震災関連ファンドで50先を支援

## 【投資状況】

ファンド名	件数	投資金額
くまもと復興応援ファンド	23先	33億円
くまもと未来創生ファンド	13先	32億円
熊本地震事業再生支援ファンド	14先	29億円
合計	50先	94億円

※九州広域復興支援ファンド（当行関与）：12先、24億円

	被災状況					
	被災小		被災中		被災大	
	融資・社債		資本性資金		再生・債権買取	
熊本県内	信用保証協会 保証付融資 (震災対応制度)	くまもと復興 応援融資 (プロパー融資制度)	くまもと復興 応援私募債	くまもと復興 応援ファンド 100億円	くまもと未来 創生ファンド 50億円	熊本地震事業再生 支援ファンド※ 50億円
九州 全域	九州広域復興支援ファンド※ 117億円			(ファンド総額317億円)		

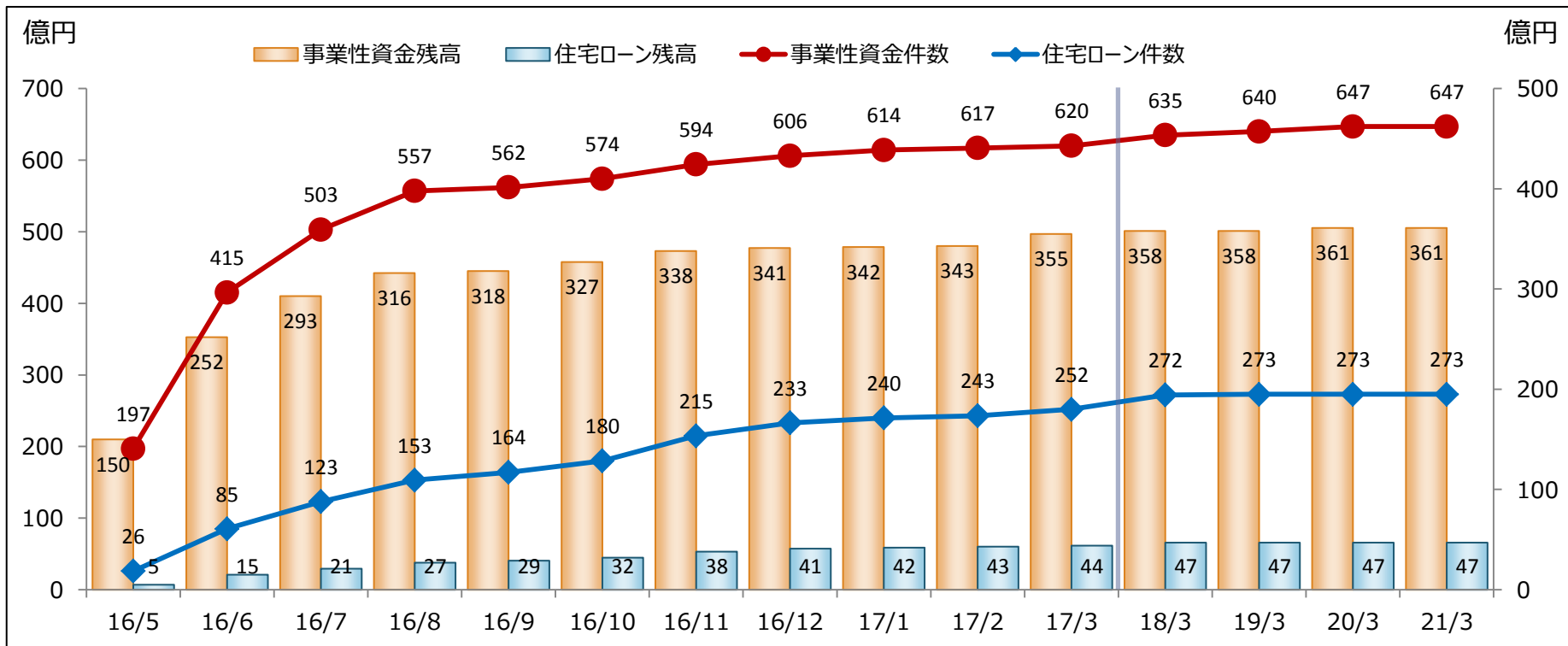
※REVICとの協働



# 8. 条件変更の対応状況

・ 震災に係る条件変更は、法人・個人ともに2017年3月末までに概ね対応完了

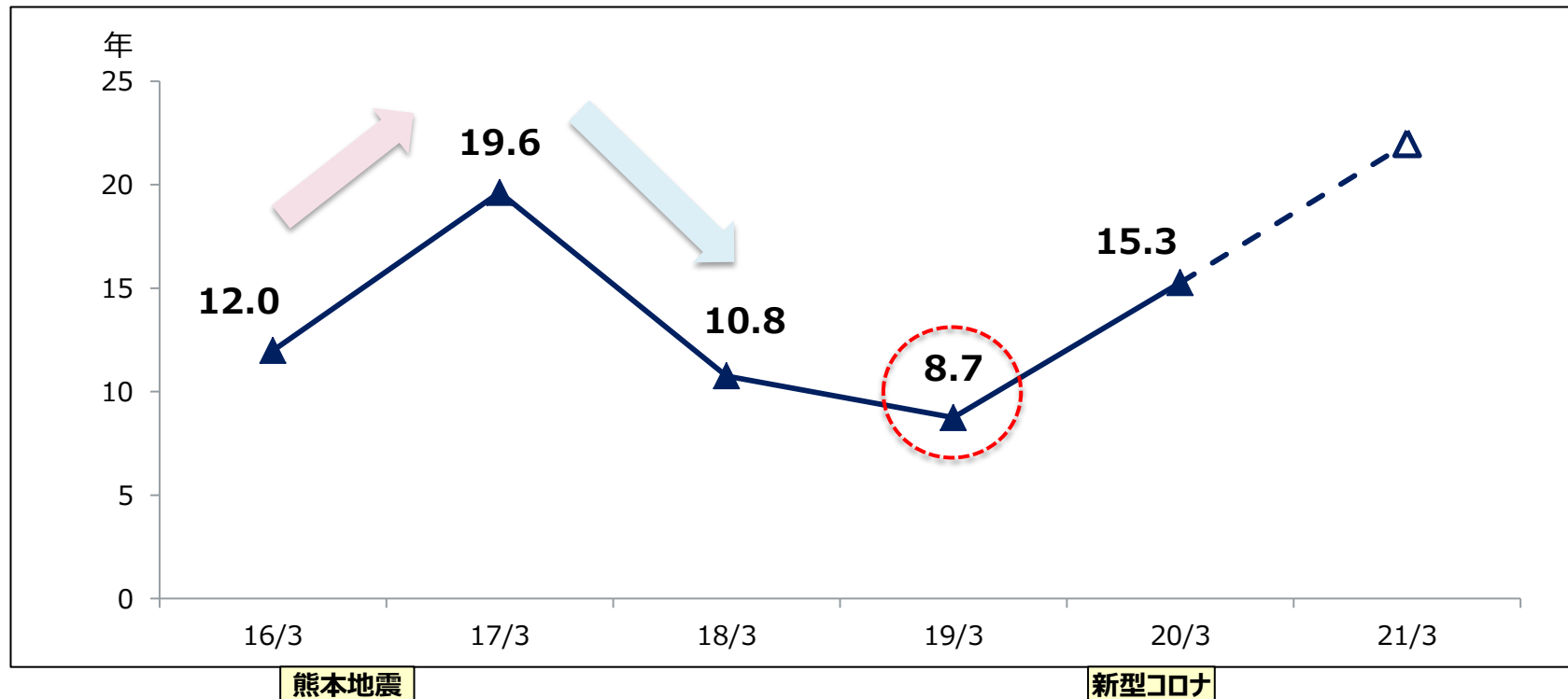
### 震災関連の条件変更対応件数及び残高（累計）



- ・ 債務償還年数は震災直後に長期化、改善基調であったが、足許は再び長期化

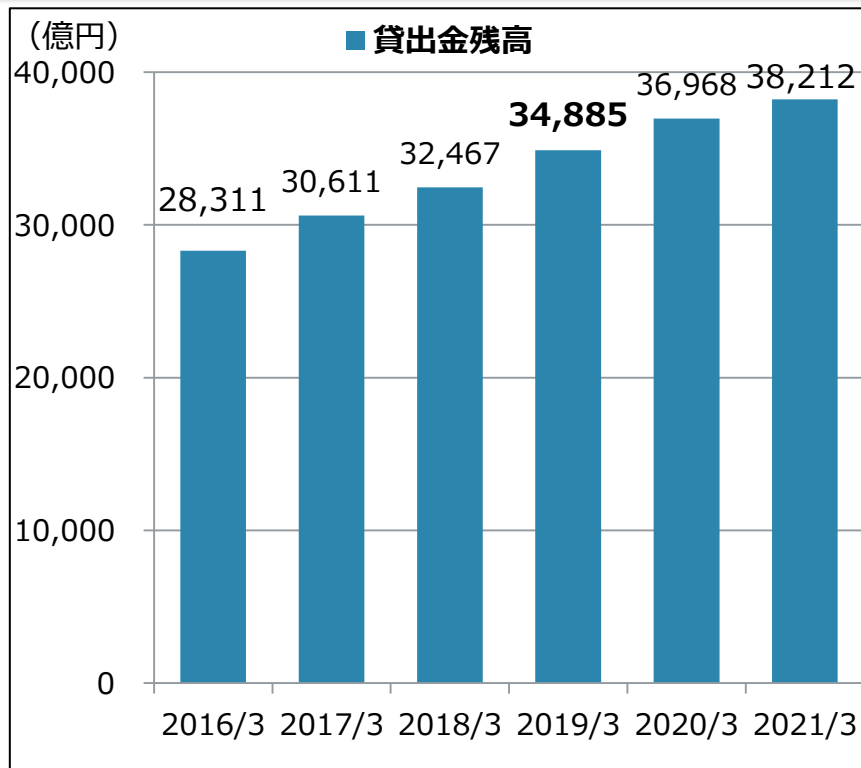
## 債務償還年数の推移

※債務償還年数 = 長期・短期借入金 ÷ 当期純利益



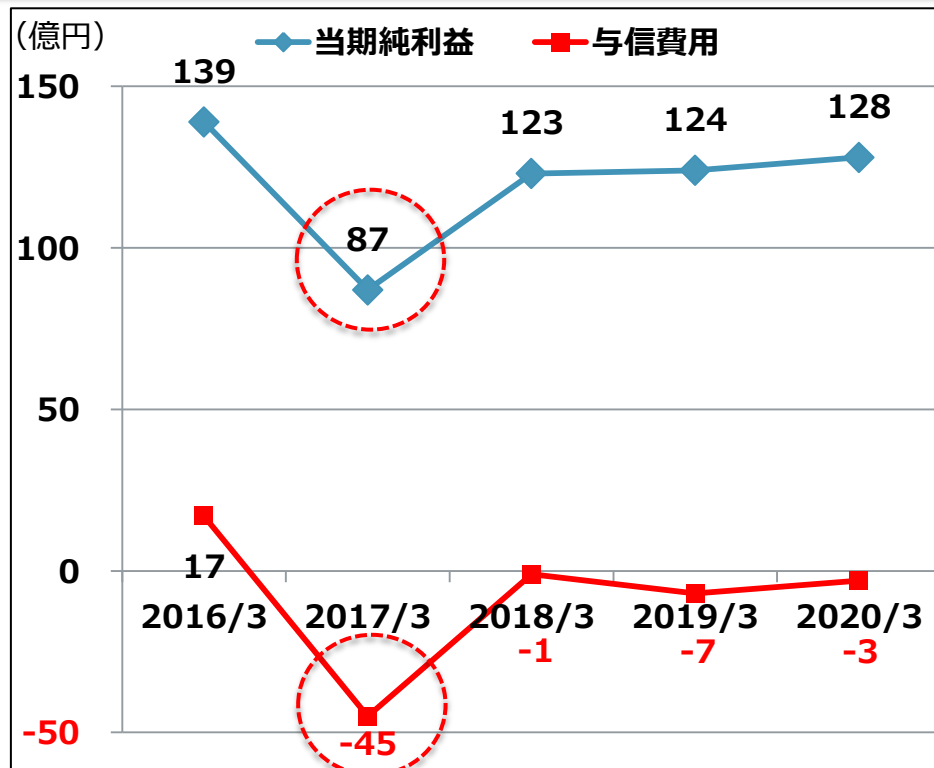
# 10. 当行決算の状況

- ・ 震災需要等により貸出金は6,500億円増加（2019年3月期-2016年3月期）
- ・ 2017年3月期の当行決算は引当金計上の影響を大きく受け減益



熊本地震

新型コロナ



熊本地震

## 総額20億8,650万円の寄付・協賛を実施

寄付・協賛先	金額
熊本城・阿蘇神社等 被災文化財復興支援募金	20億円 (グループ総額)
熊本県文化財復興支援金	1,250万円
熊本城復元整備基金	4,900万円
熊本城二の丸広場 (協賛)	2,500万円

### 文化財復興に総額15億円を寄付 九州FGグループ全体で20億円

熊本城や阿蘇神社など甚大な被害を受けた文化財復興のため、熊本県の「被災文化財等復興支援募金」に3年間にわたり寄付

### 熊本城二の丸ステージ協賛 被災直後の熊本に活力を提供

被災直後の9月、熊本城を復興発信拠点と位置付け、熊本を活気づける目的で、設置された二の丸ステージに2,500万円協賛



「心の復興」

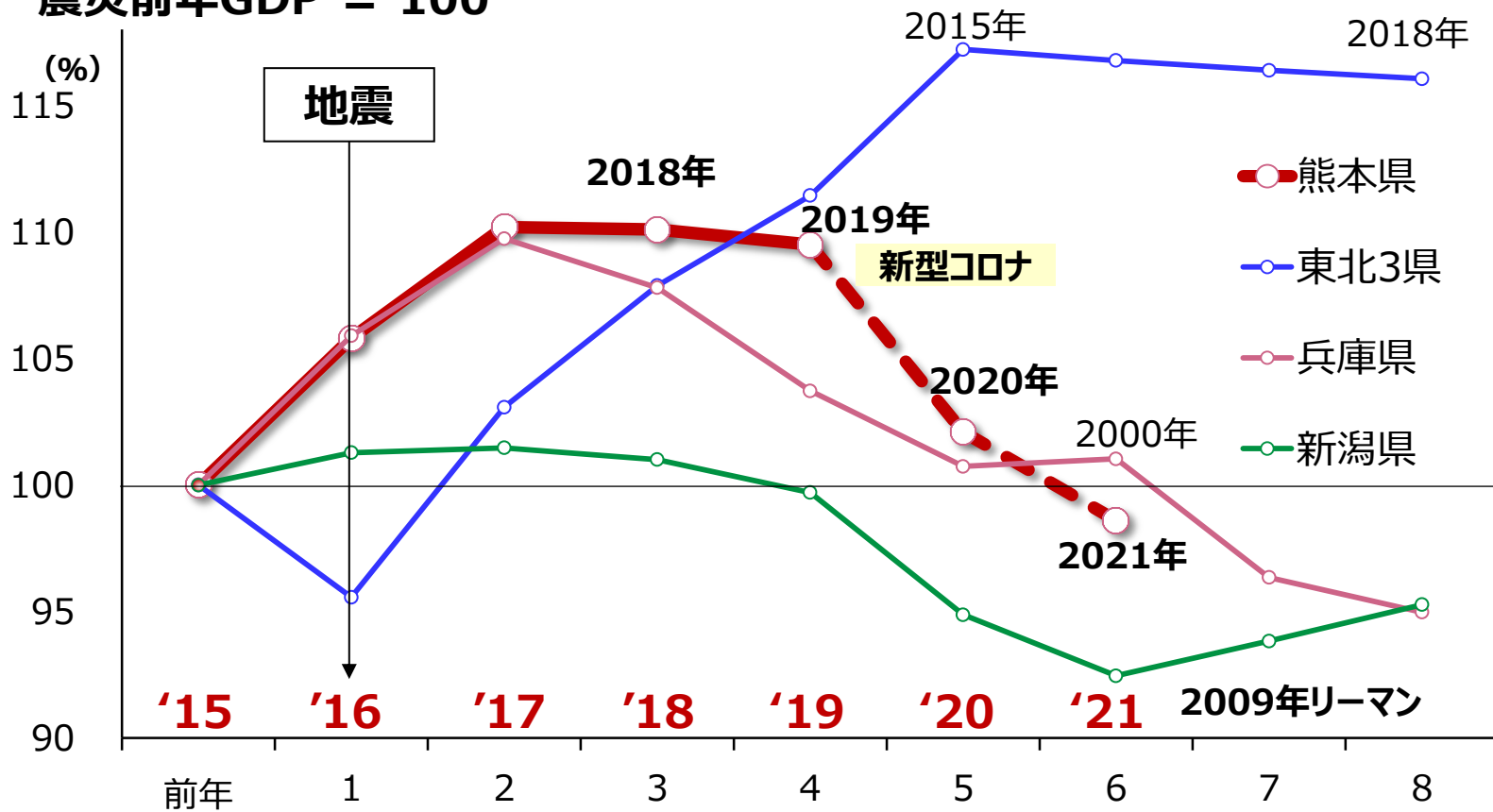
## 金融商品等を通じた寄付：総額73百万円

商品名	種類	取扱期間	寄付先	金額
くまもと復興応援私募債	私募債	2016.10 ～取扱中	熊本文化財復興 支援金（熊本県）	11
くまもと未来応援ファンド	投資信託	2017.12 ～取扱中	熊本文化財復興 支援金（熊本県）	7
熊本城応援プラン	個人向国債	2016.11 ～2017.3	熊本城災害復旧 支援金（熊本市）	49
くまもと未来応援プラン	投資信託 定時定額	2017.7 ～2018.3	熊本文化財復興 支援金（熊本県）	3
二刀流プラン	投資信託 外貨貯蓄 iDeCo	2018. 8 ～2019.3 2019.10 ～2020.5	熊本文化財復興 支援金（熊本県）	3
<b>合計</b>				<b>73</b>



## 震災後の1人当たりGDP推移（前年比）

震災前年GDP = 100





## お客様・地域への取り組み

- お客様への全訪問など迅速な対応
- ニーズに即した金融ラインナップ充実
- 非金融分野の取り組み  
セミナー・説明会、コンサルティング
- 移動店舗車 HarmoniCar導入



- ノウハウを活かし、新型コロナ対応、豪雨災害時にお客様・地域の支援を迅速に実施

## 当行BCP

- 緊急対策本部を早急に設置  
役職員安否、店舗被災、システム稼働等の迅速な状況把握、対応策
- 店舗休業に伴う業務継続  
本部・近隣店舗での業務代行
- 事務センターの変圧器倒壊  
県外からの代替機導入（翌日）  
2020年3月電源装置更新
- 基幹系システムの2センター化  
フルバックアップ実現（センター切替訓練実施）
- 定期的な障害訓練、点検（年24回）



- 豪雨災害時の対応へ活用
- 有事を想定したリスクの抽出  
記録の伝承、マニュアル化

以 上

**本件に関するお問い合わせ先**  
**肥後銀行 経営企画部 広報室**  
**TEL 096-326-8601**